

## 千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.101

【発行】千葉県テレビ伝道協力会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2  
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」  
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072  
E-mail: [chiba@life-line.tv](mailto:chiba@life-line.tv)  
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>  
郵便振替：00110-8-579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台  
2-1 OCCビル  
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650  
E-mail: [mail@pba-net.com](mailto:mail@pba-net.com)  
ホームページ <http://www.pba-net.com>  
でんわ世の光 03-3291-9061

### 教会による放送伝道

イエスは彼らにこう言われた。「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。」(マルコ16:15)  
みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。(第2テモテ4:2a)

福音番組によって視聴者に真の感動を持ってもらい、それをきっかけに聖書や教会やイエス・キリストを紹介することを目的とするのが放送伝道です。したがって、放送伝道は、私たちが用いやすい効果的な伝道方法のひとつなのです。

はじめに、伝道のためのアプローチ(接触)を考えてみましょう。たとえば聖書を友に贈る場合。

あなたは友達に伝道しようとして聖書をプレゼントしたことがありますか。そのとき、どのような差し上げ方をしたのでしょうか。「サインをした」「包んであげた」「郵送で送った」でしょうか。もちろん相手がキリスト教に詳しくればそれもいいでしょう。キリスト教について全く知らない方であるとか、興味や関心を持っていない方には、どのような差し上げ方があるのでしょうか。「そういう人にはあげない」でしょうか。考えてみると、そういう人が日本人の99%なのです。私たちはそういう人々に向かって伝道しているのです。中には、キリスト教に誤解、偏見、敵意を抱いている人がいるかもしれません。「ここは、必ずといていいほど結婚式で読まれるところだから、まずここを読んで、次に山上の垂訓と言って、なじみのことばも出てくるので、このページも読んでみてください」などと言ってしおりを挟んで差し上げるのもひとつの方法です。私たちは、そういう99%の人々の立場に立ち、同じ高さの目線で、わかる言葉や言い回しで伝道すべきなのです。

このようなことを考えてみても、今までいかに新しい人々のことを真剣に考えていなかったか、創意工夫が足りなかったかと思わされています。ラジオ・テレビの番組は、この点について、できる限り配慮して製作されています。したがって、番組をいろいろな方法で用いることによって、私たちの伝道の最適な道具とすることができるのです。

伝道番組はクリスチャンのための番組ではなく、クリスチャンが伝道するための番組です。

そこで、伝道への認識を新たにしながら、放送伝道についての学びを進め、番組が「私の伝道の効果的な道具」となることを目指したいと思います。 =「教会による放送伝道」(PBA発行)より

お茶の間に福音!

毎週土曜朝7時は、千葉テレビ「ライフ・ライン」でお楽しみ下さい。